



THE Y'S MEN'S CLUB OF

TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

2018-2019 年度
4月号
NO. 355

〒136-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町コミュニティセンター内 TEL03-3615-5565

強調月間

LT

国際会長：Moon Sang Bong (韓国) 主題「私たちは変えられる」
アジア太平洋地域会長：田中博之(東京多摩みなみ) 主題:「アクション!!」
東日本区理事：宮内友弥(東京武蔵野多摩) 主題:「為せば、成る。」
関東東部部長：衣笠輝夫(埼玉) 主題:「良いものを見つけ・つなげて、よくなる」
東京ひがしクラブ会長：金丸満雄 主題:「楽しもう ワイズ!!」

4月例会(合同)

と き 2019年4月6日(土)
PM3:00~5:00
ところ 東陽町センター「YMCA ホール」

★プログラム

司会：竹内 聰(ひがし)	
開会点鐘	ひがし会長 金丸満雄
ワイズソング/ワイズの信条	
会長挨拶	金丸満雄 土谷明男
メンバー紹介	
今月の誕生日/結婚記念日	
クラブ活動の紹介	
意見交換	
スマイル/各種報告	
閉会点鐘	茨城会長 土谷明男

ひがしと茨城

金丸満雄

4月例会は茨城クラブとの合同例会。茨城クラブはひがしクラブが始めてスポンサークラブとして誕生したクラブです。茨城クラブの設立は、1994年に茨城YMCAが設立され、茨城YMCA10周年を契機に、ワイズメンズクラブ設立の機運が高まり、鈴木健次さん(故人)本田真也さん宮田茨城YMCA総主事が中心となり設立準備委員会が立ち上げられ、設立に向かって準備が進められました。そして、2005年10月に設立総会、翌年の3月4日につくば国際会議場に於いて、華々しく国際協会加盟認証状伝達式が行われ茨城クラブが誕生しました。(古い話でスイマセン・・・)

その後、つくばの地でJAXA見学・筑波山登山・益子焼体験等々、合同例会と親睦で親子の絆を深めてきました。昨年久しぶりの合同例会は、新装の茨城YMCAの見学と委託運営する児童館を見学し、土浦市内のホテルに移動して昼食会を開き親睦をともに楽しみました。今回の合同例会は、土谷会長より「次回は東陽町で行いましょう」のありがたい言葉で、東陽町での合同例会となりました。

茨城YMCAとともに躍動する茨城クラブ。ますますの発展を願い、親クラブよりエールを送ります。

✠ 今月の聖句 ✠

『求めなさい、そうすれば与えられる。捜しなさい、そうすれば見つかる。門をたたきなさい、そうすれば開かれる。』

—マタイによる福音書7章7節—

3月例会

出席者	7名	ゲスト	名
会員出席数	7名	×1件	名
在籍数	11名		
(広義会員1名)			

ひがし会員出席率 70%

スマイル

2月 8,000円

累計 57,500円

2018-2019 年度役員

会長	金丸満雄
副会長	飯田歳樹
書記	須田哲史
会計	鮎澤正和
担当主事	沖 利柯

第25回ピースウォーク

1994年3月6日、第1回ピースウォークがひがしクラブ主催で開催された。江東区報に案内を掲載、近隣の小中学校にも案内を配布等で、こどもの参加も含め70余名の参加者でスタートした。コースは、深川親子地蔵⇒砂村新田六地蔵⇒江東馬頭観音⇒世澄多観音⇒千石地蔵 ⇒区役所ブロンズ像⇒東陽町センター(昼食後解散)であった。その時の昼食は、当時を思い“すいとん”を作り振る舞った。その後も、コースを変え出発地も変え、そして雨の日も開催しトラブルもなく25回を迎えた。

記念する第25回ピースウォークは、3月10日(日)に、第1回のコースと同じ慰霊碑を巡った。心配した天気も回復し、54名の参加者を3班に分け東陽町を出発した。京都ウエストクラブの森田恵三さん、東京グリーンクラブからは浅見さんと柿沼ご夫妻も参加頂いた。参加される方々も高齢となり、約5キロ2時間のコースは少しハードの様子(設定を見直す時が来たか...)であった。しかし、終着の東陽町センターで用意した、おにぎりとトン汁を「美味しい」と言って食べる姿に安堵した。

今回、ひがし元メンバーとこどもダイニングボランティアの方々が、トン汁作りを担当され我々を支えて頂きました。心より感謝致します。この支えを力とし、私たちはこれからも平和を願うピースウォークを続けます。(金丸満雄)



第25回記念ピースコンサート

今年は、クラブCS事業として、ピースウォークを始めて、25年目にあたる節目の年。記念行事として、例年のピースウォークに加え、吉野友加さん、嵯峨慶子さんによるアイリッシュ・ハープ、大口 葵さんによるモンゴル楽器 馬頭琴の演奏を行う、ピースコンサートも開催いたしました。ピースウォーク参加者は、慰霊碑巡り後、東陽町センターで、メネットや子どもダイニング料理班が作ってくれた豚汁&甘酒、おむすびをいただいた後、ピースコンサートのために、かけつけてくれた方々とともに、コンサート会場へ移動。午後1時から、コンサートは開演しました。演奏者の皆さんは、初めてアイリッシュ・ハープや馬頭琴を目の前で見られる方もたくさんいらっしゃるだろうとお気遣い頂き、曲の合間に、丁寧な解説をしてくださるとともに、曲目も、私たちにとって馴染みの深いイギリス民謡(広い河の岸辺他)、映画音楽(ニューシネマパラダイス、千と千尋の神隠し)、日本の歌(さくらさくら、荒城の月他)を選曲。参加いただいた皆様からも、とても癒しのひと時「平和への祈りの時となりました」との、感動の声を頂くことができました。

これからも、平和の大切さを語り続けることの大切さを忘れず、息長く、この活動を進めていこうと決意した時となりました。(須田哲史)



アイリッシュハープと馬頭琴の三重奏



ピースウォークに感激!

京都ウエストクラブ
森田 恵三

かねてから一度は参加したいと願っていたピースウォークへの参加が、なんと25周年記念とは誠にラッキーなことでした。それぞれに由緒ある6か所の地蔵尊や慰霊碑を心込めて巡拝させていただくことができました。中でも、当時、多くのばん馬業者が飼育していた牛馬3千頭の大半が焼死したことを悼んで、その霊を弔い平和を祈るためにと建立された馬頭観音様を拝して、戦争被害は人間のみではなかったことを忘れていたことに気づかされました。

ウォークは深川高校慰霊碑をもって終了し、約5キロ2時間近い感激の挑戦を見事達成できたことは我ながらあっぱれと自分をほめていましたが、棒になった足を引きずりながら見てまわったYMCAホールでの「東京大空襲体験絵画展」には、またまた激しく心に迫る悲嘆な思いで胸が詰まりました。心づくしの昼食をおいしくいただいた後の、ピースコンサートには心を慰められ疲れもすっかり癒されました。

貴クラブでは、ピースウォークのような素晴らしいプログラムを25年間も継続されているだけでなく、昨年春からは、こども食堂サービスを提供されているとお聞きして、失礼ながら少人数のクラブでありながら、メンバーの結束と熱意をもったの奉仕活動は、まさにワイズの鑑ともいえるものだと感嘆するとともに、わがウエストもかくあるべしと思わずにはおられませんでした。私の長年の念願だったピースウォークへの参加を心より感謝して、拙い寄稿を終わらせていただきます。



下町子どもダイニングの一年

東陽町コミュニティーセンター

館長 沖 利柯

「寂しく食事をしている子ども達がいるならば、皆と一緒に楽しく食事をする機会を提供したい」という思いを、東京ひがしクラブの数名のメンバーにご相談したところ、すぐに主旨に賛同いただき心強さと共に、スタートの準備を始めました。必要な資格の取得、保健所との交渉、近隣小学校への周知、賛同企業や個人の発掘などを経て、ついに夢の実現のときが来ました。ひがしクラブ主体で料理を作って頂けるという心強いサポートがあったからこそスタートできた企画でした。

何人ぐらいの子ども達が来てくれるのだろうか？衛生面は大丈夫だろうか？資金面は？という心配もありましたが、心を開ければ沢山の子ども達と保護者、そしてボランティアの方々が集まって頂くことができました。

想定以上の食事数にあたふたすることもあります。冷凍食品や出来合いのものを一切使わず、心のこもった手作り料理を作って頂き、子ども達も毎回「美味しい、美味しい」とおかわりも沢山してくれます。

でも、一度だけガスがつかないという想定外のことが起こりました。ご飯がたけていない！どうする、どうする？そんな時も機転をきかせて電気釜で急遽対応したり、ガスコンロで調理の続きをしたり。ぎりぎりセーフではありましたが、支障なく食事の提供をすることが出来ました。さすがに賢いワイズメンの皆さん。長い間の経験が生かされています。

また、皿洗いやあと片付けなど地道な作業に黙々と取り組んで頂いていることも感謝、感謝です。

そして、下町子どもダイニングを通して、参加者以外にも近隣企業、リーダーOG、社会体育・保育専門学校、高校生のボランティア、江東区内子ども食堂運営のみなさんとの新しい関係が生まれたことは、大きな成果だと思っています。

これからもたくさん子ども達が笑顔になれるように、活動を続けていきたいと思っています。さあ、次のメニューは何でしょう？楽しみ、楽しみ。



担当主事 沖 利柯

▼YMCA 保育園「ねがい」オープン

今年4月より世田谷区船橋に「YMCA 保育園ねがい」が開設されます。既存の世田谷区希望丘保育園の園舎をリニューアルして、0歳～就学前児まで79名(定員)の子ども達を受け入れる予定です。近隣の南センターとも連携をしながら、地域に特色ある保育園として期待されています。

また、東京 YMCA 保育園としてさきがけとなった「世田谷チャイルドケアセンター」は、21年間世田谷区奥沢の地に根づいた保育を実施してきましたが、3月末日をもって惜しまれながら閉園しました。

▼2019年度東陽町コミュニティー

2018年度は、新生東陽町としてスタートの一年でした。おかげ様でたくさんのプログラムに今までYMCAに関わっていなかった方々も含め参加いただき、地域にも更にYMCA活動を広めることができました。今年度も青少年育成、国際、平和、キリスト教と様々な切り口から地域に向けたプログラムを展開する予定です。どうぞ宜しくお願いいたします。

★今年度の主な予定★

- ・ 5月25日(土) 会員大会
- ・ 6月22日(土)～29日(土) 会員芸術祭
- ・ 8月 平和パネル展など
- ・ 8月24日(土) 夏まつり
- ・ 9月7日(土) 災害スタディ
- ・ 11月 いじめNO 講演会
- ・ 12月15日(日) クリスマスオープン
- ・ 12月21日(土) こどもクリスマス(ダイニング)
- ・ 2月22日(土) 陽春の集い



★今月の誕生日

高野たづ子メット(2日)

♥今月の結婚記念日

高野真治・たづ子ご夫妻(27日)

沖 利柯・ 明 ご夫妻(29日)

